

FNS サンプルモジュールのインストール手順

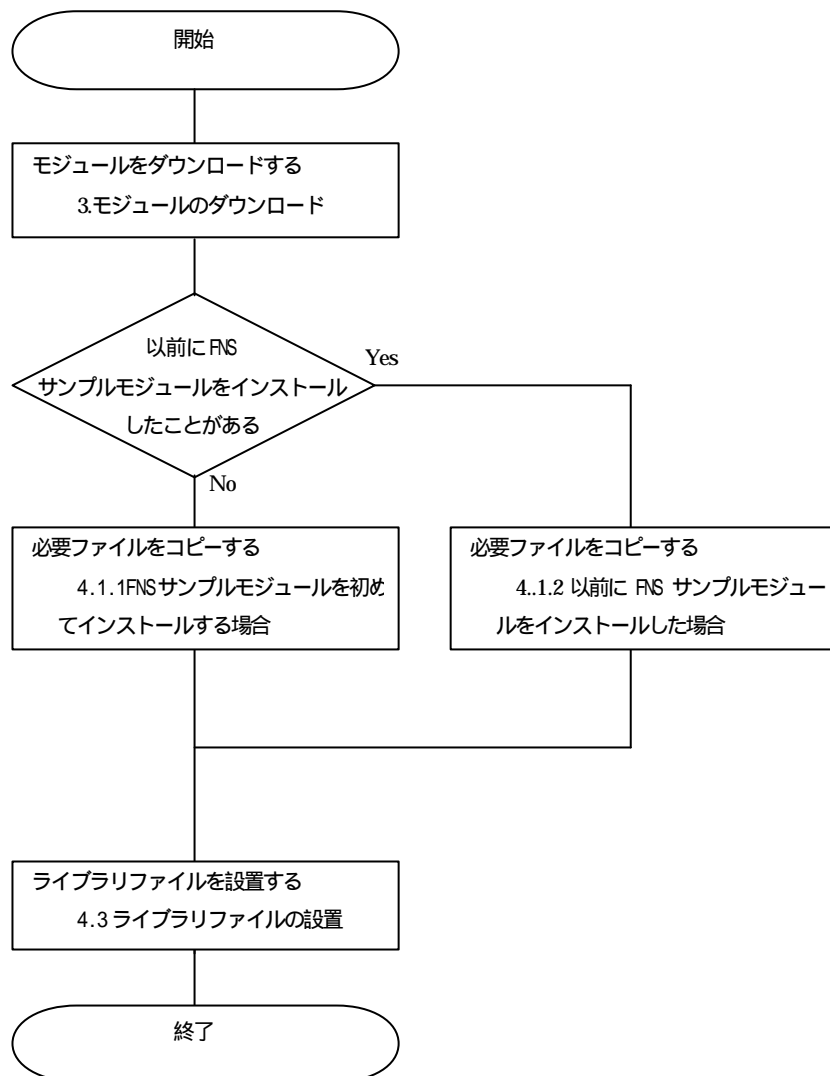
1 UNIX 版のインストール

ここでは、AVS/Express に FNS サンプルモジュールをダウンロードしてインストールする方法について説明します。機能によってライブラリのインストール有無など手順が異なりますが、基本的にはどのモジュールも同様の手順によってインストールすることが可能です。

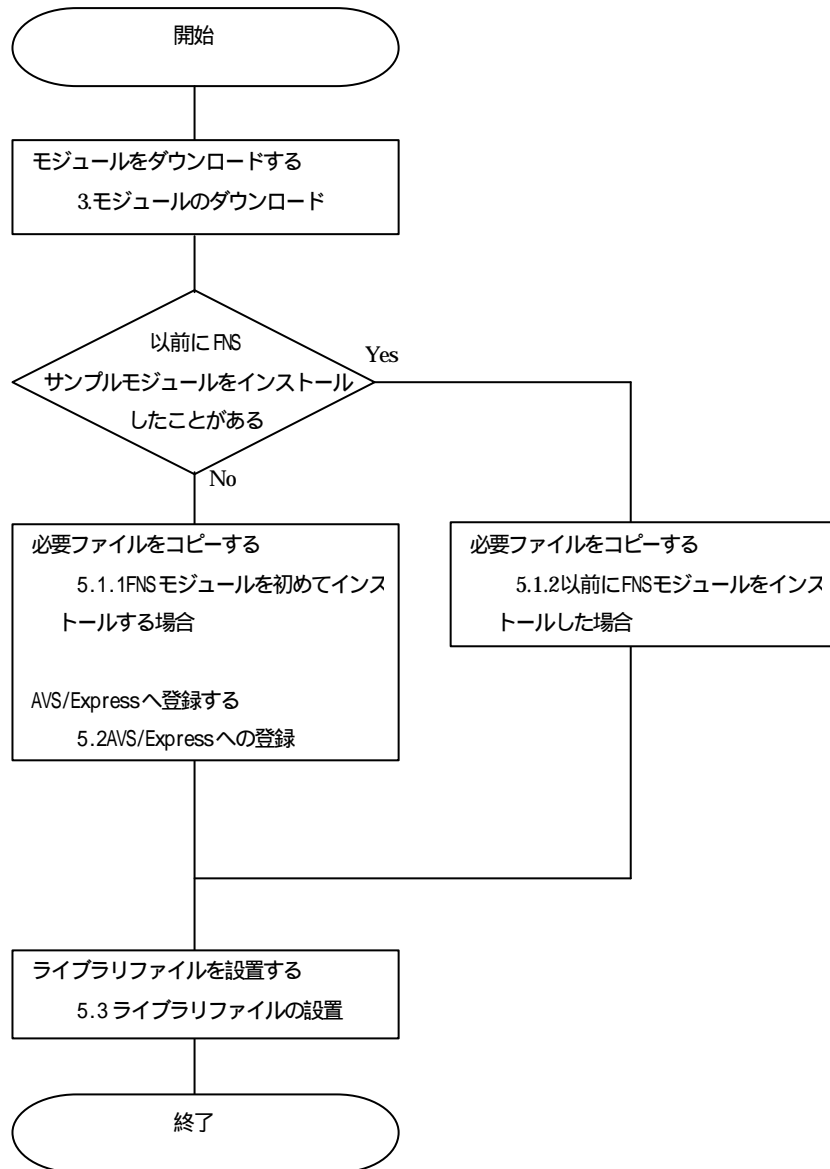
インストール前には必ず付属の Readme.txt をお読みください。

2 インストール手順フローチャート

2.1 既存のプロジェクト環境にインストールする場合



2.2 AVS/Expressの環境にインストールする場合



3 モジュールのダウンロード

"FUviewer3D_Axis"のファイル"FUviewer3D_Axis_SOLARIS.tar.gz (Solaris版)"を例に紹介します。

"UNIX版FNSサンプルモジュールのダウンロード"ページの"FUviewer3D_Axis"のファイル"FUviewer3D_Axis_SOLARIS.tar.gz"をダウンロードしてください。

AVS/Expressがインストールされているマシンに作業ディレクトリを作り、ダウンロードしたファイルを展開してください。すると作業ディレクトリには以下のファイルとディレクトリが作成されます。

今回は[/Temp]で実行し、[/Temp/FUviewer3D_Axis]とします。

```
FUviewer3D_Axis
  README.txt
  autoload
    FNS_init.v
  lib
    FUviewer3D_Axis.so
  FNS_Samples
    templ.v
  Viewers
    macros
      FUviewer3D_Axis.v
      FUviewer3D_Axis.vo
    modules
      FNS_Axis3D.v
      FNS_Axis3D.vo
      FNS_Axis3D_Arrow.v
      FNS_Axis3D_Arrow.vo
```

4 既存のプロジェクト環境へのインストール

既存のプロジェクト環境へインストールする場合の手順について説明します。
インストール先のプロジェクトは[/Project]とします。

4.1 FNS サンプルモジュールV ファイルのコピー

4.1.1 FNS サンプルモジュールを初めてインストールする場合

[/Temp/FUviewer3D_Axis]配下の[FNS_Samples]ディレクトリと[autoload]ディレクトリを、[/Project]にコピーします。

4.1.2 以前に FNS サンプルモジュールをインストールした場合

[/Temp/FUviewer3D_Axis/FNS_Samples/Viewers]ディレクトリ配下のファイル/ディレクトリを、[/Project/FNS_Samples/Viewers]にコピーします。

[/Project/FNS_Samples/Viewers]に[image]、[macros]、[modules]のディレクトリが存在しない場合は、ディレクトリをコピーしてください。存在する場合は、ディレクトリ内のファイルを[C:¥Project¥FNS_Samples]配下の同名のディレクトリにコピーしてください。

“FNS_Samples”ディレクトリ配下に存在するtempl.vは上書きしないでください。

既存の[/FNS_Samples/templ.v]を編集します。

[/Project/FNS_Samples/templ.v]をエディタで開きます。

• [/Project/FNS_Samples/templ.v]の例 (変更前)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
  };
};
```

[/Temp/FUviewer3D_Axis/FNS_Samples/templ.v]を参考にして、既存の[/Project/FNS_Samples/templ.v]を編集します。

• [/Project/FNS_Samples/templ.v]の例 (変更後)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D_Arrow" FNS_Axis3D_Arrow; 追加
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥modules¥FNS_Axis3D" FNS_Axis3D; 追加
  };
  flibrary Viewers{
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
    "..¥FNS_Samples¥Viewers¥macros¥FUviewer3D_Axis" FUviewer3D_Axis; 追加
  };
};
```

4.2 ライブラリファイルの設置

ライブラリファイル(*.so)はパスの通ったディレクトリに設置します。

パスの通っていない任意のディレクトリに設置する場合には、パスの設定が必要です。

- 1: ライブラリファイル(*.so)の無いモジュールの場合、この作業は必要ありません。
- 2: ライブラリファイル(*.so)の有無については付属の Readme.txt をお読みください。

ライブラリファイルのコピー

- **ライブラリファイルをプロジェクトディレクトリへ格納する場合**

[/Temp/FUviewer3D_Axis/lib/FUviewer3D_Axis.so]を、

[/Project/lib/s8]へコピーします。

この場合、環境変数等の設定は必要ありません。

- **ライブラリをパスの通っていない任意のディレクトリへ格納する場合**

ライブラリファイルを格納する適当なディレクトリを作成します。

今回は[/Project/FNS_Samples]とします。

[/Temp/FUviewer3D_Axis/lib/FUviewer3D_Axis.so]を、

[/Project/FNS_Samples]へコピーします。

環境変数設定

[/Project/FNS_Samples]へライブラリのパスを通します。

コマンドラインで以下のように入力します。

```
setenv LD_LIBRARY_PATH $LD_LIBRARY_PATH:/Project/FNS_Samples
```

以上で既存のプロジェクト環境へのインストール作業は終了です。

5 AVS/Express の環境へのインストール

AVS/Express へインストールする場合の手順について説明します。
インストール先の AVS/Express は [express] とします。

5.1 FNS サンプルモジュールV ファイルのコピー

5.1.1 FNS サンプルモジュールを初めてインストールする場合

[/Temp/FUviewer3D_Axis]配下の[FNS_Samples]ディレクトリを、[express]にコピーします。

5.1.2 以前に FNS サンプルモジュールをインストールした場合

[/Temp/FUviewer3D_Axis/FNS_Samples/Viewers]ディレクトリ配下のファイル/ディレクトリを、[express/FNS_Samples/Viewers]にコピーします。

[express/FNS_Samples/Viewers]に[image]、[macros]、[modules]のディレクトリが存在しない場合は、ディレクトリをコピーしてください。存在する場合は、ディレクトリ内のファイルを [express/FNS_Samples/Viewers]配下の同名のディレクトリにコピーしてください。

[FNS_Samples]ディレクトリ配下に存在する templ.v は上書きしないでください。

既存の[FNS_Samples/templ.v]を編集します。

[express/FNS_Samples/templ.v]をエディタで開きます。

• [express/FNS_Samples/templ.v]の例 (変更前)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    ".\FNS_Samples\Viewers\modules\FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
  };
  flibrary Viewers{
    ".\FNS_Samples\Viewers\macros\FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    ".\FNS_Samples\Viewers\macros\FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
  };
};
```

[/Temp/FUviewer3D_Axis/FNS_Samples/templ.v]を参考にして、既存の [express/FNS_Samples/templ.v]を編集します。

• [express/FNS_Samples/templ.v]の例 (変更後)

```
flibrary FNS_Samples{
  flibrary Viewer_Modules{
    ".\FNS_Samples\Viewers\modules\FNS_Rotate_Obj" FNS_Rotate_Obj;
    ".\FNS_Samples\Viewers\modules\FNS_Axis3D_Arrow" FNS_Axis3D_Arrow; 追加
    ".\FNS_Samples\Viewers\modules\FNS_Axis3D" FNS_Axis3D; 追加
  };
  flibrary Viewers{
    ".\FNS_Samples\Viewers\macros\FUviewer3D_Rota" FUviewer3D_Rota;
    ".\FNS_Samples\Viewers\macros\FUviewer3D_Zoom" FUviewer3D_Zoom;
    ".\FNS_Samples\Viewers\macros\FUviewer3D_Axis" FUviewer3D_Axis; 追加
  };
};
```

5.2 AVS/Express への登録

AVS/Express へ登録するには、[express]にあるファイルの編集が必要です。

以前に FNS サンプルモジュールをインストールしたことのある場合は、この作業は必要ありません。

FNS_init.vのコピー

[express/autoload]ディレクトリに[/Temp/FUviewer3D_Axis/autoload/FNS_init.v]をコピーします。

[express/autoload]ディレクトリが存在しない場合はディレクトリを作成してください。

5.3 ライブラリファイルの設置

ライブラリファイル(*.so)はパスの通ったディレクトリに設置します。

パスの通っていない任意のディレクトリに設置する場合には、パスの設定が必要です。

- 1: ライブラリファイル(*.so)の無いモジュールの場合、この作業は必要ありません。
- 2: ライブラリファイル(*.so)の有無については付属の Readme.txt をお読みください。

ライブラリファイルのコピー

- **ライブラリファイルを AVS/Express ディレクトリへ格納する場合**

[/Temp/FUviewer3D_Axis/lib/FUviewer3D_Axis.so]を、
[express/lib/s8/]へコピーします。
この場合、環境変数等の設定は必要ありません。

- **ライブラリをパスの通っていない任意のディレクトリへ格納する場合**

ライブラリファイルを格納する適当なディレクトリを作成します。
今回は[/Project/FNS_Samples]とします。

[/Temp/FUviewer3D_Axis/lib/FUviewer3D_Axis.so]を、
[/Project/FNS_Samples]へコピーします。

環境変数設定

[/Project/FNS_Samples]へライブラリのパスを通します。
コマンドラインで以下のように入力します。
setenv LD_LIBRARY_PATH \$LD_LIBRARY_PATH:/Project/FNS_Samples

以上でインストールされている AVS/Express へのインストール作業は終了です。